

夏の交通安全県民運動実施結果

7月11日(金)～20日(日)

区分	年別	平成26年	平成25年	増減数
総事故件数		1,647件	1,848件	-201件
人身事故件数		184件	212件	-28件
死者数		2人	4人	-2人

運動期間中の死者数は2件2人(前年同期対比-1件、-2人)で、二輪車運転者と自転車乗用者が亡くなりました。
 ※ 7月末現在の県下の全死者数は57人(前年同期対比±0)で、その半数近くを高齢者が占めています。

三重県交通安全協会は、交通事故をなくすため、幅広い交通安全活動を行っています。

当協会の活動は、皆様からご協力いただいた会費で支えられています。

三重県交通安全協会の活動にご協力をお願いします。

三重県交通安全協会は、一件でも交通事故をなくし、一人でも多くの方の命を守るために活動しています。
 お住まいの地域で悲惨な交通事故をなくすために、当協会の活動にぜひご支援・ご協力をお願いします。

- ★ 3年会費・・・1,500円 5年会費・・・2,500円
 ※ 途中入会の方は、免許の有効期間の残り年数1年当たり500円となります。
- ★ 賛助会員
 当協会の活動に賛同していただく事業所・団体及び個人にご協力いただいております。



会員の皆様へ協賛店サービス

県内外の各店舗等のご協力により“会員の店” (約1,000店舗)での優待(料金の割引等)がご利用いただけます。

なお、「会員の店」(協賛店)情報は携帯サイトアドレス及びQRコードからも検索できます。

【携帯サイトアドレス】
<http://www.mie-ankyo-mise.com/mobile/>

三重県交通安全協会では、「協賛店」を募集しております。詳細は、各地区交通安全協会へお問い合わせください。

(一財)三重県交通安全協会

交通安全みえ

2014 / 中秋号 No.188

発行所
 (一財)三重県交通安全協会
 三重県交通安全活動推進センター
 (三重県公安委員会指定)
 〒514-0004
 津市栄町1-954 三重県栄町庁舎5F
 TEL 059-228-9636
 URL <http://www.mie-ankyo.com/>

北から南から ～各地区の活動～

交通安全協会は交通事故をなくすため、幅広い活動を行っています。

- 街頭での交通安全指導(学童・お年寄りの街頭保護)
- 保育・幼稚園、小・中学校への交通安全資器材の提供
- 交通安全の広報啓発(新聞・テレビ・広報車)
- 交通安全イベントの開催(交通安全フェスタ等)
- 優良運転者・交通安全功労者(団体)等の表彰
- 交通事故無料相談の開設

桑名地区と伊賀地区
 交通安全協会の活動は
 P2にズームアップ!

わたしは三重県交通安全協会のシンボルマスコット“ストッピー”です。

交通安全協会の活動は、会員の皆様からのご支援・ご協力により、支えられています。

桑名地区交通安全協会

くわな夏の交通安全ミニフェスタでの広報啓発活動



桑名地区交通安全協会は、夏の交通安全県民運動期間中に、ショッピングセンター内で開催された交通安全ミニフェスタに参加し、「夏の交通安全県民運動」と「飲酒運転0(ゼロ)をめざす条例」の広報啓発活動を行いました。会場内は、多くの親子連れで賑わい、警察官ミニ制服を着用した子どもらの白バイ乗車姿の記念撮影やクイックアーム、飲酒ゴーグルなどの体験を通じて交通安全への意識を高めていただきました。



伊賀地区交通安全協会

夕暮れ時・キラキラキャンペーン



伊賀地区交通安全協会は、夏の交通安全県民運動期間中に、地元の大規模店舗前で、買い物客に広報チラシと反射タスキなど交通安全グッズを配付し、反射材着装を呼びかける「夕暮れ時・キラキラキャンペーン」を行いました。

「夕暮れ時からは反射材を着装してください」との女性部員の声かけに、早速、その場で反射タスキを肩にかけて帰られる方もおられました。

第42回 二輪車安全運転三重県大会

自分自身の腕だめし!



ちどり走行競技

平成26年6月1日(日)、三重中央自動車学校にベテラン選手と初参加の選手総勢28名が集まり、互いの安全運転技能を競い合いました。

各選手は本番1回限りのアタックチャンスに気力を集中させ、バイクと一体化して競技に臨みました。競技の結果、次の方々が全国大会へ出場権を獲得しました。(敬称略)

- 若年 上野 晶
- 女性 真鍋 智香
- 一般A 真鍋 彰夫
- 一般B 力石 晃行

三重県チーム大健闘!!

三重県代表選手たちは、県大会後、酷暑の中、訓練を重ねタイム計測を繰り返すなどして各自の弱点の克服に努め、平成26年8月2日(土)・3日(日)、鈴鹿サーキットで開催された「第47回二輪車安全運転全国大会」に臨みました。全国強豪選手ぞろいの中、三重県チームは団体第3位の好成績を収めました。

クラス別(個人)の成績は、女性クラスで真鍋智香選手が優勝、一般Aクラスで真鍋彰夫選手が第2位と真鍋夫妻をはじめ各選手が大健闘しました。



三重県代表チーム

大会の結果

- 全国優勝 埼玉県
- 第2位 兵庫県
- 第3位 三重県

クラス別(個人成績)

- 女性クラス 優勝 真鍋 智香 選手
- 一般Aクラス 第2位 真鍋 彰夫 選手
- 高校生等クラス 第5位 上野 晶 選手



優勝・準優勝を勝ち取った真鍋夫妻

第48回 交通安全子ども自転車三重県大会

絶対優勝するぞ!



安全走行テスト

平成26年7月5日(土)、県下18地区の代表小学校の各選手は、それぞれの意気込みを胸に、津市芸濃町総合文化センター内アリーナに集結しました。

各選手は緊張しながらも学科テストと技能テストに果敢に挑みました。結果発表時には応援席から一際大きな歓声が上がると、選手の健闘に盛大な拍手が送られました。

猛暑が続く中、放課後と休日を利用して練習を重ねた各代表校の選手の皆さん、そして、懸命に指導・応援してくださった関係者の方々から感謝を申し上げます。

三重県大会の結果(団体成績)は次のとおりです。

- 優勝 明和町立修正小学校(松阪)
- 第2位 大紀町立七保小学校(大台)
- 第3位 伊賀市立府中小学校(伊賀)
- 第4位 桑名市立大山田東小学校(桑名)
- 第5位 鈴鹿市立国府小学校(鈴鹿)
- 第6位 鳥羽市立安楽島小学校(鳥羽)

第49回 交通安全子供自転車全国大会

平成26年8月6日(水)、三重県大会を制した明和町立修正小学校の選手たちは、東京ビッグサイトで開催された「第49回交通安全子供自転車全国大会」に臨み、一生懸命頑張りました。

大会の成績結果

- 全国優勝 沖縄県チーム
- 第2位 静岡県チーム
- 第3位 山形県チーム



大会開会式に臨む各県チーム

「三重県飲酒運転0をめざす条例」施行1周年記念フォーラムの開催



平成26年7月13日(日)、三重県人権センター多目的ホールにおいて「三重県飲酒運転0をめざす条例」施行1周年記念フォーラムが開催され、多く皆さんに参加いただきました。フォーラムのオープニングでは、主催者、来賓者の挨拶の後、飲酒運転0をめざす隊・通称「チームZERO」の結成式が行われ、隊長に三重県警察の「ミーポくん」が、また、副長に当協会の「ストッピー」がそれぞれ任命され、鈴木英敬知事から「飲酒運転0をめざせ隊」のタスキを受けました。オープニングの締めくくりには、会場内の参加者全員が「飲酒運転をしない、させない、許さない」のかけ声を挙げて飲酒運転根絶に向けた気運を盛り上げました。オープニングに引き続き、猪野亜朗氏による「飲酒運転とアルコール関連

問題について」の基調講演と5名のパネラーによるパネルディスカッションが行われ、様々な問題点等が討議されました。

三重県では、12月1日の「三重県飲酒運転0をめざす推進運動の日」に向け、条例の県民の皆様への更なる周知広報を推進するとともに、県内各地で、「飲酒運転0をめざす啓発リレーイベント」など各種のキャンペーンを展開し、飲酒運転0をめざすこととしております。

当協会も県、警察はじめ関係機関団体等と緊密に連携し、飲酒運転の根絶に向けた広報啓発活動を積極的に推進していくこととしております。



ご存じですか? “TSマーク”



平成25年中の三重県内における自転車による人身事故は1,150件で総人身事故件数の1割超を占めています。

特に、自転車乗用者が加害者となる自転車に関する交通事故は、年々増加しており高額の損害賠償を請求される事例も増加しています。

全国で報告されている高額賠償事故の事例

- ・片手にペットボトルを持ったまま運転の自転車が、下り坂を減速せずに信号機のない交差点内へ進行し、横断中の歩行者に衝突。歩行者が脳挫傷で3日後に死亡。(6,779万円の賠償命令)
- ・幹線道路を走行の自転車が、信号を無視して進行し、横断中の歩行者に衝突。数日後に歩行者が死亡。(5,438万円の賠償命令)
- ・少年が自転車に乗って下り坂を進行中、歩行者に気づかず衝突。歩行者は頭蓋骨折で意識不明の状態。(9,500万円の賠償命令)

TSマークってなに?!

「TSマーク」は自転車安全整備店で自転車安全整備士による点検、整備を終えた「安全な自転車」に貼るシールです。賠償責任保険と傷害保険の2つがセットになった1年間の付帯保険が付いている「安心の証」です。

傷害補償	入院15日以上 (一律) 10万円
	死亡又は重度後遺障害 (1~4級・一律) 100万円
賠償責任補償	死亡又は重度後遺障害 (1~7級・最高限度額) 5,000万円 ※ 平成26年10月1日から増額改定
	事故の相手方への被害者見舞金 入院15日以上 (一律) 10万円 ※ 平成26年10月1日から新設・運用開始



このマークのある自転車安全整備店で、点検・整備を受けてTSマークを貼ってもらうと保険が付帯されます。

秋の全国交通安全運動

運動の基本

・子供と高齢者の交通事故防止

9月21日(日)~30日(火)

運動の重点

- ・夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止 (特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底)
- ・全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ・飲酒運転の根絶



夕暮れ時、ちょっと早めのライトオン運動

10月1日(水)~12月31日(水)